

◆ 2024 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：東松山市きらめき市民大学歴史郷土学部 B 班

27A-06

代表者：リーダー 柴田 博

URL :

1. 活動が必要とされた状況

世界で熊谷市元荒川の源流部にのみ生息する絶滅危惧種で県の魚ムサシトミヨを東松山市きらめき市民大学内にて飼育繁殖活動を行う。市民や子どもたちに飼育水槽を観察してもらい、種の保護や生息環境の保全活動の大切さを考える啓蒙活動の一端としたい。この活動のため、飼育水槽及び水質、水温管理用の機器類一式を設置したい。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

(1) 令和 6 年 3 月末、埼玉県環境科学国際センター（ムサシトミヨ保護センター）より 10 個体（オス 5 匹、メス 5 匹）のムサシトミヨの分譲を受ける。きらめき市民大学内水槽を設置して B 班 11 名にて活動を開始した。

(2) 主な活動記録

- ・ 2 月～5 月先進飼育先を訪問視察研修（熊谷市久下小、佐谷田小、県内各水族館等）。
- ・ 5 月末に初めての産卵孵化に成功。以後 8 月頃まで断続的に産卵孵化を継続。
（この間病死、餓死、水槽内の汚れ等を繰り返し 1 月末生息稚魚数 17 匹）
（稚魚用餌としてブラインシュリンプの孵化装置設置供与中）
- ・ 6 月 東松山市環境市民プロジェクトに登録され、啓発活動開始。
- ・ 6 月、8 月ムサシトミヨの生息地（天然記念物地域）の清掃活動に参加。
- ・ 7 月 啓発活動用のデジタル紙芝居完成。
- ・ 8 月 夏休み親子観察会開催（約 50 名の参加者・デジタル紙芝居使用）。
- ・ 10 月 学園祭にて一般展示（多くの来場者に説明・デジタル紙芝居使用）。
- ・ 11 月 県立熊谷高（生物部 7 名）勉強会のお手伝い（デジタル紙芝居使用）。
- ・ 12 月 飼育報告書作成（20 頁、学校当局に提出・発表用解説書作成）。



飼育水槽



ムサシトミヨの卵



生息地の清掃活動

3. 活動の成果

多くの失敗を重ねながらも、17 匹のムサシトミヨが私達の小さな水族館で泳いでいることを誇りに思っている。活動を通して、多くの人々にムサシトミヨの保護・保全活動の大切さを伝える一端を担うことが出来たかと思う。

4. 今後に残された課題

- ① 飼育には多くの人手と時間がかかるため、簡素化した手順書の作成が必要である。
- ② ここの水槽で生まれ育った魚たちが新たな生命を宿せばとの期待を持っている。